

相談支援センター 事業報告

平成 28 年度事業計画に基づき、以下の事業を運営いたしました。

| | 事業名、事業種別 | 実施主体 | 開始年月 | 相談体制 |
|--------------|------------------------------------|----------------------------|--------------|------|
| 主に生活全般に関わる事業 | 埼玉県障害児等療育支援事業 (公益事業) | 埼玉県 | 平成 11 年 10 月 | 5 名 |
| | 相談支援事業 (委託、一般、特定) (第 2 種社会福祉事業) | 埼玉葛北地域自立支援協議会 (4 市 2 町) | 平成 18 年 10 月 | 4 名 |
| | 地域生活定着促進事業 (公益事業) | 埼玉県 | 平成 22 年 5 月 | 2 名 |
| | 巡回支援専門員整備事業 (公益事業) | 久喜市、幸手市 | 平成 28 年 4 月 | 2 名 |
| 就労に関わる事業 | 久喜市障害者就労支援事業 (公益事業) | 久喜市、白岡市、 宮代町 | 平成 16 年 6 月 | 2 名 |
| | 障害者就業・生活支援センター事業 (公益事業) | 埼玉労働局 埼玉県 | 平成 19 年 4 月 | 6 名 |

※各事業の体制は兼任にて実施

相談支援センターは、障害のある人と、その家族の日常生活など様々な相談を受けました。

<相談実績>

| | 相談支援 | 就労支援 | 定着支援 | 総数 |
|----------|-------|-------|------|-------|
| 登録者数 (人) | 560 | 788 | — | 1,348 |
| 相談件数 (件) | 2,451 | 5,587 | 404 | 8,442 |

| | |
|------------------|-----|
| 職員一人あたりの相談件数 (件) | 767 |
|------------------|-----|

(相談支援センター職員数 11 名、サービス等利用計画作成数は除く)

1 ケアマネジメントによる相談支援体制の充実 (相談支援)

- (1) 幸手保健所管内 4 市 2 町 (久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町) の委託を受けて相談支援事業を行いました。
- (2) 相談の傾向として、地域に福祉サービスが充実して来た事からその利用に関する内容や、日常生活上の手続き等に関する内容が特に増加しています。
- (3) 課題としては、緊急時の短期入所施設等の不足・グループホームへの入居ニーズ増加、成年後見制度の利用支援などが見られました。

<相談+種別> (件)

| | | | | |
|-----|-----|-----|------|-------|
| 訪問 | 外来 | 同行 | 個別会議 | 関係者会議 |
| 518 | 430 | 365 | 32 | 52 |

<相談内容> (件)

| | | | | | | |
|--------|-------|------|------|-------|-----|------|
| 福祉サービス | 健康・医療 | 不安解消 | 家族関係 | 生活技術 | 余暇 | 権利擁護 |
| 1,022 | 632 | 912 | 506 | 1,239 | 182 | 27 |

2 療育相談機能の充実（療育支援、発達巡回）

- (1) 保育園、幼稚園、小・中学校を巡回し、保育士・教員に対して、発達に遅れのある児童への指導方法や環境調整について助言を行いました。
- (2) 近年では発達障害に対する認知度が上がった事から、普通学級に在籍する児童についての相談が増加しています。その中でも特に中学卒業後の進路を懸念する保護者からの相談を多く受け付けました。

<相談種別> (件)

| | | |
|-------|------|--------|
| 訪問療育 | 外来療育 | 施設への指導 |
| 1,777 | 190 | 97 |

3 地域生活定着支援センターの運営（定着支援）

- (1) 地域生活定着支援センターけいわでは、矯正施設（刑務所又は少年院等）の出所予定者で、福祉的支援が必要な高齢や障害の方々の支援を行いました。
- (2) 平成 22 年に事業委託を受けてから今まで 34 名の出所者支援を行い、平成 28 年度は 5 名の出所に向けた調整支援、出所後の刑余者 23 名のフォローアップ支援を行いました。
- (3) 重大な犯罪を犯した対象者が支援依頼にあがってきて調整が難航したり、フォローアップ支援に終わりがなかったりと課題が多くあるため、今後もより関係機関と密な連携が必要となってきました。

<相談種別> (件)

| | | | | |
|------|----|----|------|-------|
| 電話調整 | 訪問 | 同行 | 個別会議 | 関係者会議 |
| 238 | 83 | 31 | 33 | 19 |

4 就労支援の充実と体制の強化

- (1) 主に利根保健福祉圏域（7 市 2 町）に住んでいる障害のある方の就労相談及び就労支援を行いました。

<相談種別> (件)

| | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 来所相談 | 電話相談 | 職場訪問 | 他機関訪問 | 新規就職者 | 実習者 |
| 816 | 2,024 | 2,012 | 735 | 34 | 43 |

- (2) 登録者及び新規就職者とも全体的に増加していますが、中でも精神障害の方の数が増加傾向にあります。

<登録者内訳> (人)

| | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 |
|------|----------|----------|
| 身体障害 | 69 | 66 |
| 知的障害 | 482 | 444 |
| 精神障害 | 237 | 205 |
| 合計 | 788 | 715 |

<新規就職者内訳> (人)

| | 平成 28 年度 | 平成 27 年度 |
|------|----------|----------|
| 身体障害 | 0 | 5 |
| 知的障害 | 15 | 18 |
| 精神障害 | 19 | 16 |
| 合計 | 34 | 39 |

- (3) 平成 27 年度就職者の中で、1 年間離職せずに就労が続いている利用者が 84%となっています(平成 26 年度就職者定着率 67%)。職場定着率が改善した要因として、就労移行支援事業所等での、就労アセスメントや職場実習などを通して本人と職場のマッチングがうまく図れたことが挙げられます。

5 地域住民やボランティアを含めた障害者支援のネットワーク活用

- (1) 月 1 回、圏域に住まう在宅の障がいがある方の交流の場「みんなの会」をボランティアと共に運営しました。
- (2) 緊急・困難なニーズに対しても対応出来るよう、日頃から地域の各事業(コミュニティーソーシャルワーカー研修、埼玉北地域自立支援協議会、就労支援サポート研究会、久喜市精神保健福祉関係機関担当者連絡協議会等)に参加し、ネットワークを広げました。

6 ソーシャルワーカーとしての人材育成

- (1) 多種多様な福祉ニーズに応えるために、各種研修に参加し、相談員の支援技術の向上に努めました。
- (2) 参加研修(一部)

| 研修名 | 主催 | 日時 | 場所 | 参加者 |
|------------------------|-----------------|---------|-------------|-----------------------|
| コミュニティーソーシャルワーカー研修 | 久喜市社会福祉協議会 | 5/26他 | ふれあいセンター久喜 | 袴田、阿久津 |
| 相談支援従事者初任者研修 | 埼玉県 | 6/1他 | 埼玉県合同庁舎他 | 寒河江 |
| サービス管理責任者研修 | 埼玉県 | 9/21他 | ゆめばれす他 | 袴田、阿久津、日下 |
| 埼玉県東部ブロック相談支援体制整備検討会議 | 埼玉県 | 11/8他 | ふれあいセンター久喜他 | 袴田、近藤 |
| 埼玉県定着支援センター研修会 | 埼玉県地域生活定着支援センター | 11/26 | 大宮ソニックシティ | 渡邊、袴田、鈴木、新井、近藤、日下、阿久津 |
| 埼玉県障害者相談支援従事者専門研修(障害児) | 埼玉県 | 1/25,26 | すこやかプラザ | 近藤 |